



# ～もう一人の自分たち～

校長 島浦 昌乃

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成

(文責：教頭 土器 修)

新年明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆さまにとって本年が良い年となりますようお祈りいたします。1月26日(土)に、校区コミュニティ運営事務局、環境整備部13名の皆さま、PTA会員24名の皆さま、生徒ボランティア93名のご尽力によりPTA美化作業が行われました。皆さまのお陰により校地が見違えるほど整備され、新年を気持ちよく迎えることができました。心より感謝申し上げます。今年度のまとめとなる3学期を迎え、職員一同、教育活動の充実に向けて見とりと改善に努めてまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。



校区コミュニティの皆さまによる土づくりの様子

## 新たな目標に向けた決意表明 ～2学期終業式、3学期始業式の実施～

12月23日(金)に2学期終業式を、本年1月10日(火)に3学期始業式をオンラインで実施しました。南中生のやる気と熱意が伝わる清々しい儀式的行事となりました。厳しい寒さがまだまだ続く見込みですが、希望に満ちた暖かい春の到来を感じさせる内容でした。すべての南中生が強い気持ちでそれぞれの目標を達成し、卒業証書授与式、終了式を迎えることを期待しています。

### <終業式における2学期の反省>



#### 1年1組 花田 陸人

宿泊研修の目標「集団でのルールやマナーを守って生活すること」については、1日目注意されることが多い状況でした。しかし2日目以降は一人一人が高い意識をもち、集団としてレベルが上がりました。協力することも含めて、絆が深まったと思います。合唱コンクールでは、はじめは声が出せていませんでしたが、練習を重ねるうちにはっきり声を出すことができました。結果は伴わなかったですが、これをバネに来年度は素晴らしい合唱をつくり上げたいと思います。



#### 2年1組 永野 真琴

職場体験では、大人の方と一緒に働くことで勤労の大変さを学び、合唱コンクールでは、2クラス金賞受賞を成し遂げ、学年の団結力が高まりました。課題は「個の力」です。一人で行動する場面で、誰かを頼り、考えを放棄するという課題です。修学旅行では「挑戦」というテーマを設定し、京都市内の班別自主研修の様々なミッションに挑戦しました。外国人の方に勇気を出してコミュニケーションをとることもできました。誰かが困っていたら自ら助けにいこうという姿もありました。3学期は「失敗を恐れず挑戦する力」を生かし南中のリーダーとして活躍します。



#### 3年2組 田中 裕太

文化発表会では委員長の坂東さんが掲げた「史上最高の文化発表会」に向けて全力で努力しました。最上級生として恥ずかしくない、最高の思い出になるようにこれまでと比べられない程合唱の練習を重ねました。最優秀賞には届かなかったけど、2学期揃って金賞を受賞できました。3年生が1つになれた気がしました。学習面では朝早く来て勉強している仲間がいます。昼休みも多くの仲間が勉強しています。3年生として学習に対する意識が変わってきていると実感しています。後輩に何を残し伝えていくかを考え、残りの日々を充実させたいです。

### <始業式における3学期の目標>

#### 1年2組 桑原 聖央

2学期は多くの行事を通して仲間と協力する大切さを改めて時間することができました。3学期には3つの目標があります。1つは勉強です。1学期よりも内容が難しくなり、点数が下がった人が多くいたと思います。3学期は1年間の総復習のテストです。どのような心構えで臨むかが大切です。とりあえず静かに授業を受ける、ただ黒板の内容を綺麗に書き写すだけでなく、内容を深く理解するために、1つ1つ授業を大切にしたいです。過去の自分を超えたいです。



#### 2年2組 上田 文慈

2学年の課題は「意思表示」でした。最初は難しさを感じましたが、役員改選や修学旅行等を通して解決しつつあると感じます。次の目標は、学年の中だけでなく、学校全体の場面で発揮することです。4月には学校全体を担う最上級生となるために、前に立って発信し、下級生を引っ張っていく姿を目指したいです。また、先日家庭学習の実態が公表されました。進路実現に向けて、自分たちに足りないことを考え、日々の学習に取り組んでいきましょう。3学期は、3年生に向けて準備する大切な時期です。良い準備をして今年度を締めくくりましょう。



#### 3年1組 羽田野 千夏

「受験は団体戦」という言葉に違和感をもっていました。学年集会での「団体戦でもあり、個人戦でもある」という先生の話聞いて、どのような気持ちや姿勢で取り組むのが深く理解しました。一人一人がつけてきた力を最大限発揮できるように3学期は学年全体で支え合うべきだと思います。コロナ禍で多くのことが経験できなかったからこそ、普段できていることのありがたさがわかり、これまで、1つ1つの行事を日本一にしようと取り組んできました。3学期はこれまでの経験を、2年生のフォロワーとして還元し、恩返しの一学期にしていきたいです。



## 特別支援教育における小中連携の取組 ～なかよし交流会の実施～

12月1日(木)に、原田小学校なかよし学級の児童18名を本校にお招きしてなかよし交流会を実施しました。ゆうあい学級の生徒は、手本を示したり、優しく声をかけたり、小学生が安心感をもてるように関わり方を工夫しました。キーボード演奏やクイズ等を通して、来年度入学予定の6年生は、ゆうあい学級の雰囲気に関心し、入学への期待をふくらませることができました。見学にお越しの6年生の保護者の方も南中ゆうあい学級の温かな雰囲気に心から安心されていました。



キーボード演奏の様子

**「挑戦～自ら考え、目標に向かって突き進み、みんなで創り上げる青春物語～」 ～2学年関西修学旅行の実施～**

12月19日(月)～21日(水)に、2学年関西修学旅行を実施しました。1日目午後は奈良県東大寺、京都府宇治平等院の見学、2日目は京都市内班別自主研修、2日目夜、3日目午前中は京都文化体験という行程でした。2日目の京都市内班別自主研修は、近年タクシーを活用して行うのが主流ですが、以下の3つの力を身に付ける観点で、観光地ガイドを調べて行きたい場所を選び、時刻表を使って行程表を作成し、公共交通機関を活用して散策しました。

- ①自分たちで企画し実行する力
- ②その場の状況に応じて臨機応変に対応する力
- ③コミュニケーション力

班別自主研修では、交通状況等の状況で計画の変更を迫られたり、道に迷って近くの人とコミュニケーションをとる必要が生じたりしました。これらの課題を班員で協力して解決し、全員が予定時間にホテルに到着することができました。

この修学旅行はコロナ禍での実施でもあることから、生徒一人一人が教師の指示を待つのではなく、感染症対策を講じて自らの安全やリスクを管理しなければなりません。また、京都文化体験では、節度を守る場面と心から楽しむ場面を自ら使い分けることが求められます。21日(水)の帰着式には、これらの経験を通して一層頼もしくなった2年生の姿がありました。自分たちで決めたルールやマナーを自ら守り、一人一人が責任ある行動をとる意味を実感した姿でした。これらの学びがこれから南中の最高学年として後輩をリードするうえで発揮されることを心から期待します。



東大寺見学の様子



京都文化体験の様子



京都市内班別自主研修の様子

**南中生徒会文化の継承と創造 ～第25代役員退任式・第26代役員任命式の実施～**

12月23日(金)に、第25代生徒会役員の退任式、第26代生徒会役員の任命式を実施しました。第25代生徒会役員は、この1年間毎朝円陣を組んであいさつ四箇条を唱和することで互いに絆を強め支え合い、チームとなって生徒会活動や学校行事を運営してきました。退任にあたり、そのひたむきな貢献の姿に心から敬意を表します。また、役員選挙の公示から退任式、任命式までの長い期間、役員改選を支え続けた、委員長の松尾玲央さん、副委員長の古賀美滯さんをはじめとする選挙管理委員の皆さんの責任ある姿勢に感謝いたします。



退任する第25代生徒会役員と選挙管理副委員長

3学期より南中生徒会を牽引する第26代生徒会役員の任命式では、新生徒会長 工藤晃さんが次のように所信を表明しました。

第25代生徒会役員の先輩方は、仲間への思いやりあふれる学校を創ってきてくれました。そんな先輩方の伝統を引き継ぎつつ、自分たちで考えた公約を取り入れ、新しい南中を創り上げていきます。そのために宇美あいさつヒーローワークや宇美南フレンドリーゲームなど、明るく南中生が活動でき、あいさつや学校生活から元気や南中生らしさを出せるように頑張っていきます。そして、南中が明るく頑張っているぞと地域の皆さんからも認めてもらえるような学校にしていきたいです。



第26代生徒会役員任命式の様子

彼らは、12月27日(火)、28日(水)に役員研修会でリーダーとしての心構えや具体的な取組について研修し、生徒総会に向けた準備を始めました。3学期からの彼らの活躍に期待するとともに、生徒会会員一人一人が責任をもって生徒会役員を支え、一丸となって新しい南中生徒会文化が創造されることを期待します。

<任命された第26代生徒会役員>

会長	副会長(会計)	副会長(書記)	学習委員長	環境委員長	健康委員長	文化委員長	図書委員長
工藤 晃	園田 真也	金井 美諭	山下 遼陽	石井 大智	宗 奏歌	高木 優斗	志水 佑衣菜



生徒会役員研修の様子

**保護者の皆さま、生徒の皆さんへのお礼 ～赤い羽根共同募金贈呈～**

12月22日(木)の生徒集会において、11月28日(月)～12月2日(金)に実施した赤い羽根共同募金を社会福祉協議会事務局長の吉本壽絵様に贈呈いたしました。募金総額は、7,560円となります。吉本様からは「皆さんの気持ちを大切にさせていただきます。」というお言葉をいただきました。子どもを通じてご協力いただいた保護者の皆さま、生徒の皆さんに心よりお礼申し上げます。



募金贈呈の様子

**生徒の努力を称えて ～各種表彰～**

12月23日(金)に、中体連、中文連等で優秀な成績を収めた部活動、生徒の表彰を行いました。

- 糟屋区中学校新人卓球大会 団体の部 準優勝 男子卓球部
- 筑前地区中学校新人陸上競技大会 中学共通男子100mハードル 第3位 安居孝晃 第5位 工藤晃
- 宇美町図書館を使った調べるコンクール 最優秀賞 平野晴己、南里美穂 入選 高原菜子 努力賞 金井美諭、加藤彩花
- 全国納税貯蓄組合連合及び国税庁主催中学生の「税についての作文」 会長賞 高原奈那
- 宇美町青少年育成町民会議主催少年・少女の主張大会中学生の部 最優秀賞 野田美葵
- 宇美町青少年育成町民会議主催「青少年の声」標語中学校の部 最優秀賞 高原奈那 佳作 工藤晃、藤咲櫻子
- 社会を明るくする運動作文コンテスト 佳作 田中樹梨、倉津希望
- 糟屋区中学校文化連盟総合発表会 展示部門 優秀賞 清水恋華 佳作 高原奈那、成田芽生



ふみの里フェスタ表彰の様子  
(左)少年・少女の主張大会 最優秀賞 野田美葵さん  
(右)「青少年の声」標語 最優秀賞 高原奈那さん